

第 3 3 号

発 行

神戸市立神出中学校 P T A

責任者 佐 伯 尚

編集者 広 報 部 委 員

神戸市西区神出町東1167

電話 9 6 5 - 0 0 2 5

かんで



P T A 会 長 佐 伯 尚

昨年十一月に東京本社に赴任し、三ヶ月が経過した。東京駅から山手線で六分の浜松町駅に隣接した世界貿易センタービルが私の職場です。四十階建てのこのビルからは、東京一円を眼下に、天気の良い日には雪を頂いた富士山を一望することができます。職場の窓からは、東京タワーがあたかも額縁に収められているように目の前に迫り、夜になるとライトアップされイルミネーション付きの絵画を眺めているようです。仕事は、副社長が統括する技術総括本部の品証推進室で、社長の品質保証についての方針を全社に伝達、フォローアップすることが主なものです。赴任一月後にLNGタンクの建設現場で三名が死亡する事故があり、急遽事故対策本部に加わり、事故原因究明、再発防止対策等をおこないました。年末、年始も吹っ飛びましたが、工事が再開することができ、やっと本来の仕事に復帰したところです。P T A 会長の不在により関係者の皆様にご迷惑をおかけしていることを紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、本年は神出中学校の創立五十周年にあたり、地域、同窓会の皆様のご支援をいただきながら、先生方、生徒達、P T A 保護者が協力して、阪神淡路大震災の復旧・復興途上に配慮した学校方針により生徒中心の実に有意義な記念行事を行うことができました。「はばたこう、明日の夢に向かって」のスローガンの下で、関係者が心を一つ

に合わせて、米作り実習、神出の餅作り、記念体育祭・文化祭・式典等手作りで取り組みました。

生徒達は、これらの活動を通して目標に向かってみんなが協力することの大切さ、素晴らしさを学んでくれたと思います。夢の架け橋と言われていた明石海峡大橋が四月に開通します。生徒達も自分の夢を持ち、その実現に向かってはばたこう願っております。

これらの行事にあたり、田んぼのご提供、廃品回収等に協力していただいた地域・P T A 保護者の皆様、「神出の希望」一寄贈にお骨折りを頂いた同窓会の方々、梶滋さん、式典・スローガンの看板等を手作りしていただいた管理員さん、全力投球していただいた先生方、家族ぐるみで米作りのご協力いただいた藤本さんに改めてお礼申し上げます。

また、プラスチック部は、苦しい練習に耐え、全国大会に出場しマーチング部門で銀賞を獲得し五十周年記念に花を添えて頂きました。岡本先生をはじめご指導、ご協力頂いた先生方にお礼申し上げます。野球部その他のクラブの生徒達も、それぞれ頑張った結果を出してくれました。今後の更なる活躍を期待しています。

五十周年記念行事を通じて、先生、生徒、保護者のよい関係が構築できました。このよい関係を継続し、昨今クローズアップされているような事件のない神出中学校で有り続けることを夢見ながら会長の挨拶とします。

50周年記念式典



創立五十周年

記念式典を

終えて

学校長 吉田 晶一

「ゆかり香ぐわし……」創立以来歌い続けられてきた校歌にあるような、この素晴らしい地に神出中学校が創設され、満五十年が経ちました。そこで先人

の築いてこられた長い校史を振り返り、これを基に更に未来に向って飛躍を期す機会にするため、昨年十一月二日に創立五十周年式典が好天にも恵まれ、生徒、保護者の皆様をはじめ、多数の地域の方々、ご来賓の出席のもと厳粛な中にも爽やかな式典、引続き神戸金管アンサンブルコンサートが花を添えてくれました。これ無事式典を行う事が出来ました。これも偏にPTA、同

窓会、地域の皆様の物心両面にわたる暖かい御協力とお忙しい中貴重な原稿をお寄せ頂いた方々のお陰と、深く感謝し厚く御礼申し上げます。
本校はこれからも更なる発展に向って職員生徒が協力しあい、努力を重ねて参りますので今後とも皆様の暖かい御支援、御協力をお願いいたします。
後になりましたが、五十周年に当り、記念として、PTAか

ら和太鼓一基、同窓会から記念碑一基、夫々から部活動助成を頂きました事を報告させて頂きます。

前生徒会長

胸 永 匡 俊

創立五十周年という記念すべき年に生徒会長という大きな仕事を果たすことができました。

記念式典の前日までは本当に心臓がドキドキしてしよがなかったです。当日、あいさつを読んでいる時、足のふるえがとまらないほど緊張してかなりつらかったです。あいさつが終わったあと手が汗でぬれていました。いろいろ手伝ってもらったみなさん、ありがとうございました。本当にいい思い出になりました。

50周年を祝う歌

詞：神出中在校生一同
曲：第51回生有志

僕達は今 ふりかえる
緑ゆたかな 学舎で
共に歩んだ 五十年を hand in hand
この故郷の大地 ふみしめ

僕達は今 考える
光あふれる 青い空
明日を夢みて はばたこう heart to heart
あの瀬戸海の 橋から永遠に

このシンボルマークを作った
アイデアは神出中という自然に
あふれ緑豊かな中学校から得た
ものです。五十年間その恵みと
伝統を守り続けてきて、さらに

3年 分玉 博子
これからも新しい芽をはぐくんで、
学校や教育、生徒たちの成長を願って
いこうという思いで作りました。

記念シンボルマーク



分玉博子(3年1組)

2年 藤本 豊和
個人個人が自分の夢を持って、
その夢に向かって地道に努力して、
夢をつかめるようがんばってほしい
と思うので、あのキャッチフレーズ
を書きました。

3年 久戸 千宏
それぞれの未来の夢に向かって、
皆が勇気を出し努力もする。
いろいろ困難も乗り越えて、
大空(社会)にはばたき、
本当にその夢をつかめたら、
すばらしいことだと思いきゃッチフレーズ
を作りました。

成長押井中 戸森胸中川吉長中
田田部上嶋 (田岡永原崎田田井
步浩江英孝 以上 美幸恵良笑正浩淳
未子利彦憲 3年 香子恵子恵恵春和二)

記念式典式次第

- 1 開式のことば
- 2 君が代 斉唱
- 3 学校長 式辞
- 4 神戸市教育委員会祝辞
- 5 P T A 会長祝辞
- 6 同窓会長祝辞
- 7 来賓紹介・祝電祝詞披露
- 8 記念品贈呈
- 9 生徒代表よろこびのことば
- 10 50周年記念シンボルマーク等表彰
- 11 50周年記念祝歌 合唱
- 12 校歌 斉唱
- 13 閉式のことば

— 50年のあゆみ —

- 昭和22年 神戸市立神出中学校創立
- 26年 運動場整地作業終了
- 40年 講堂兼体育館落成
- 50年 プール完成
- 52年 鉄筋新校舎第2期工事完了
- 62年 新体育館完成
- 平成2年 校訓制定・コンピューター21台設置
- 6年 格技室竣工

記念キャッチフレーズ

優秀 「はばたこう
明日の夢にむかって！」

久戸千宏(3年3組)
藤本豊和(2年3組)

優秀

「永久の日までずっとずっと神出中」
松村栄津子(2年3組)

「みんなで築こう みんなの神出」
黒河綾子(3年2組)

「青空に高くはばたけ 未来のために」
川崎美奈(3年3組)

「大切な時 思いでの場所
君をわすれない」
赤坂 (本校職員)

「Face to Face 笑顔と
Hand in Hand ぬくもりと
Heart to Heart まごころで
みんなでつくろう 五十周年」

田中 亨(同窓会員：神出町北)



長戸須川梶西
田田藤崎 馬
(以上 真香亜恵真史
2年 智奈由恵真史
子美子子佳)



神戸金管アンサンブルコンサート

(平成9年度 県民芸術劇場 学校公演)

- トランペット……竹森健二 (大阪音楽大学講師)
堀川正浩 (関西フィルハーモニー)
- ホルン……………東谷慶太 (フリー奏者)
- トロンボーン……呉 信一 (京都市芸術大学教授)
- チューバ……………武貞茂夫 (京都市交響楽団)
- ドラムス……………細田慎平 (神戸金管アンサンブル)

— プ ロ グ ラ ム —

- ファンファーレ P. デュカス
 - ルネッサンス舞曲集より T. スザート
- 他

50周年記念行事



金管アンサンブルコンサート

式典終了の後10時40分から演奏が始まりました。数々のとても素晴らしい演奏だったため、終了予定の時刻が過ぎてもアンコールの拍手が鳴りやまず、神戸金管アンサンブルさんのご好意で10分程アンコール演奏をしていただきました。

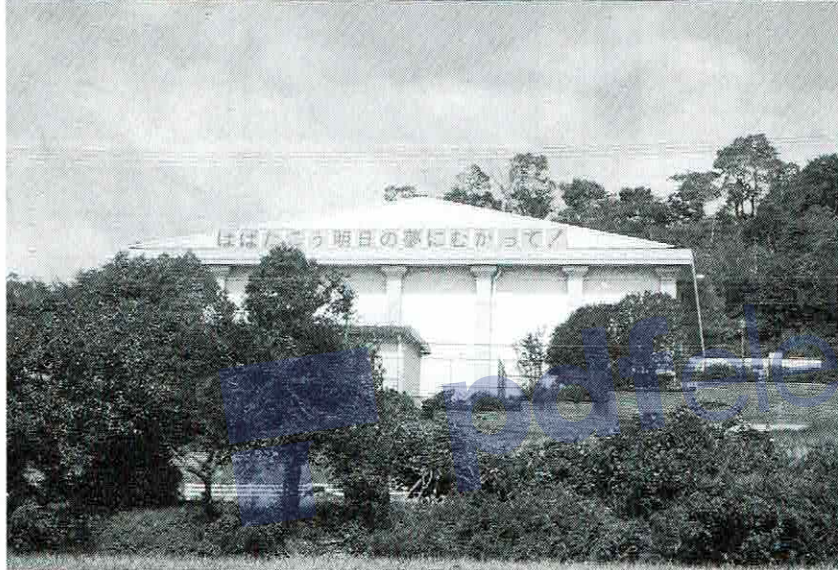
神出中学校同窓会より五十年記念彫刻像として「神出の希望」が贈られました。「神出の希望」は中学校中庭に建立され記念式典の前日贈呈式が行われました。「神出の希望」の作者は神出中学校第二十回卒業生の梶滋さんです。この彫刻の製作の趣旨は「人を表現するために膨らみがある円を基本形態としました。この円が大きくなったり、小さくなったり、傾いたりしながら伸びていきます。この増殖は、中学校時代の多感で柔軟な精神が環境に反応しながら自己表現に向けてまっすぐ成長しようとする姿を表わしています。又、下の円錐は、人間としてしっかりと精神と肉体を作って欲しいという、父母と教師の願いを表現しています。」とのことであり、この趣旨は記念像の台座側面に刻字されております。

記念誌・テレカの配布

記念式典当日に、記念誌「神出」と記念テレカを来賓並びに生徒達に配りました。記念誌はB5判横型で柿色の表紙で40頁ものです。テレカは人文字の「神出中」が入った校舎全景の航空写真にシンボルマークやキャッチフレーズや学校名等が入ったものです。

五十周年記念

彫刻像の寄贈



菊づくりほか

春頃から五十周年記念行事として、三年生は校歌の掲示板を製作し式典の二・三日前に体育館舞台横に掲示しました。二年生は一人一鉢の菊づくりを行い優秀作品は式典当日体育館入り口横に展示しました。また、格技室北側の「祝五十周年記念」及び体育館屋上の「はばたこう 明日の夢に向かって！」両看板も生徒の手で製作しました。



もち米づくり

50周年記念行事の一環としてもち米づくりに取り組みました。



田植え

六月七日(土)

学校の近くのたんぼで生徒がもち米の苗を植えました。最初は三年生からで、昔ながらの木の枠で植えて行きましたが、思うように真っ直ぐには植えられませんでした。一・二年生はそれぞれ男女別に、時間を区切り一列になり一斉に植えていきましたが、一度に十本近くも植えない生徒もいました。





稲刈り

十月七日(火)
午後三時から生徒が六月に田植えをしたもち米の稲を刈りました。慣れない手つきで鎌で稲を刈っていき、わらで束ね脱穀機まで運びました。けがをする生徒もなく予定通り約一時間で無事終了しました。



もちつき

十一月一日(土)
十月に稲刈りをしたもち米でクラス単位でもちつきをしました。最近では自宅でもちつきをする家庭も少なくなってきたので、恐る恐る杵でついていました。もちがつけるとお母さんがまめるめ、紅白各一ヶをパックに詰め、翌日の記念式典に参加された来賓の方々に配りました。

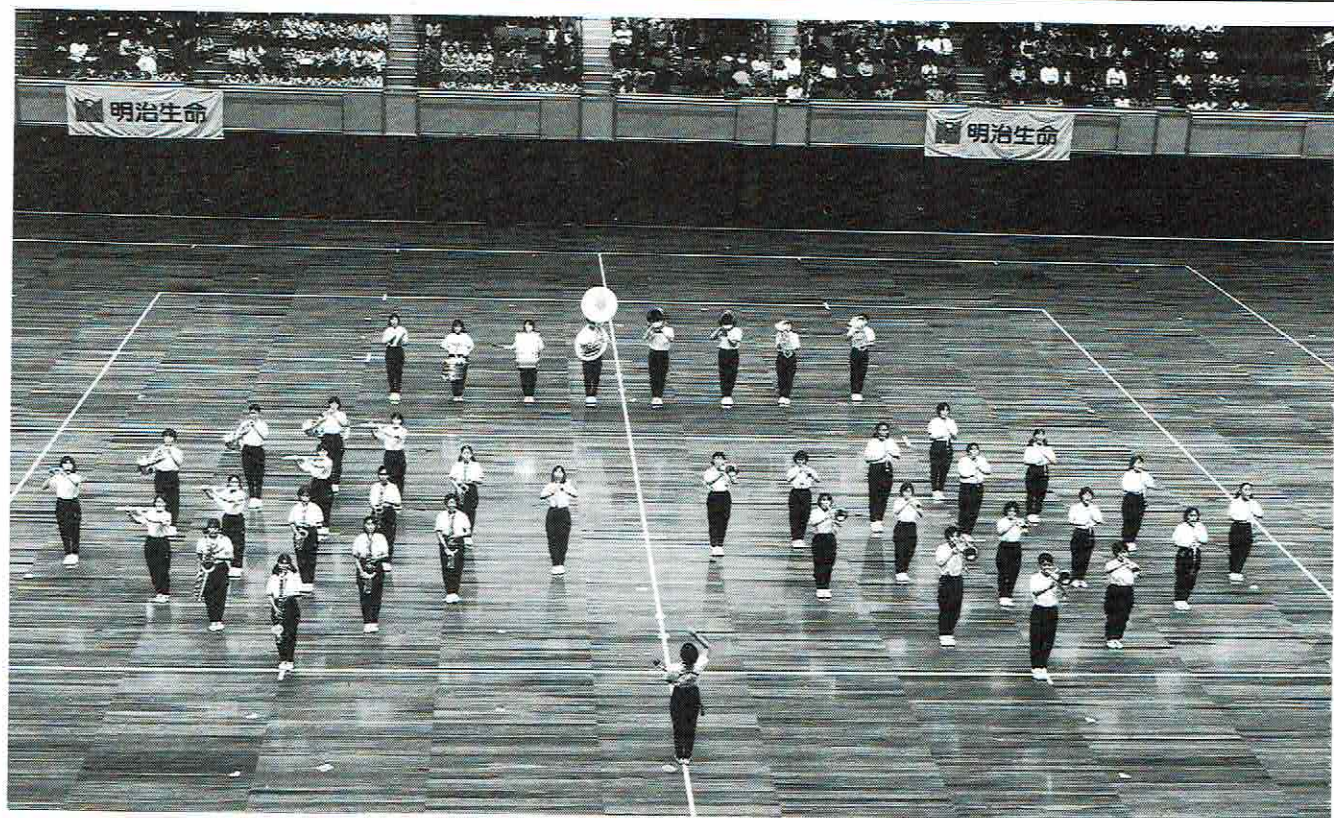


創立50周年祝い
生徒が育てた
米でもちつき
西区・神出中

創立五十周年を記念し、神戸市西区の市立神出中学校(吉田晶一校長)の生徒二百五十人が一日、もちつきをした。生徒たちが育ててきた米を使い、保護者ら約百人と一緒に紅白のもちをつき上げた。二日の記念式典で配る。
今年六月、地元から借りた千五百平方メートルほどの田で初めて田植に挑戦。十月七日に刈り入れ、PTAにも手伝っても



らい約五百四十キロを収穫した。この日はうち二百キロを使って校庭でもちつき。きねを持つた生徒らの腰つきに、うすを囲んだ人から笑いが絶えなかった。残りの米は福祉施設に贈る。
また、同校同窓会が卒業生の彫刻家、梶滋さんの作品「神出の希望」を寄贈。除幕式も行われた。さらに同校の吹奏楽部は、創立以来初めて全日本マーチングフェスティバルへの出場権を獲得。五十周年に花を添えた。
—平成九年十一月二日付
神戸新聞朝刊より—



吹奏楽部 銀賞受賞 ♪♪

♪♪ 全日本マーチングフェスパレードコンテスト



応援ありがとうございます。

岡 本 浩 志

吹奏楽部員は本年度三年生を中心に本当によく頑張ってくれました。夢であった全国大会に出場できて、私にとっても一生の思い出になる素晴らしい体験をしました。しかし、全員が音楽の専門家になるわけでも、何でもないので、ただ技術が向上することよりも、部活を通して、「苦しいことでも、頑張ってお力すればきっと報われる」ということを学んでくれたのではないだろうか。

先日、アンサンブルの発表会の帰りのバス停付近で五、六人の若者であった。その中の一人が五年前の神出中での初めての吹奏楽部員であった。何でも障害者へのボランティアで、来ているようであった。私はその時、自分中心の世の中で、人のために何かをできる、いやさせていただいているという考えのこの卒業生に頭の下がる思いであった。

「今年、OBとしてクラリネット教えに来てよ」とお願いする事なんてないよ」といついて「全国まで行った後輩に教える事なんてないよ」といついて

「全国まで行った後輩に教える事なんてないよ」といついて

だが、私はクラリネットの腕よりも、この卒業生の優しさや人間性を今の中学生に感じ取って欲しかったのです。良い成績を残した次の年は勝つことだけを優先した部活動になりやすくなると諸先輩のアドバイスを聞くともっとしっかりした「心の教育」が必要になってくると思いました。

十一月二十三日、神戸市中央区のワールド記念ホールで開催された第十回全日本マーチングフェスティバル全国大会（全日本吹奏楽連盟 朝日新聞社主催、明治生命協賛）で、演奏や動き

の正確さを競う「バレーコンテスト中学の部」に関西地区代表として参加した我が神出中学吹奏楽部は各地区代表十五団体の中で見事銀賞を受賞しました。

当日は四十一人のメンバーが、威勢の良いかけ声とともに会場に登場し、観客をわかせた後、人気アメリカ映画のテーマなどを演奏しながらマーチングを披露し、日頃の練習の成果を発揮しました。



体 育 祭

今年の体育祭は従来の種目に加え、五十周年記念行事の種目として神出音頭（保護者、OB、生徒）、神出太鼓（女子生徒）、棒上旗取り（男子生徒）、ムカデ競争（二年生）の演技が披露されました。

文 化 祭

五十周年記念式典の日の午後開催されました。

舞台の部は例年のクラス単位の演技・演奏ではなく、文化クラブ主体の演技と全員合唱でした。展示の部では生徒の作品は授業で制作した作品が主体で、PTA・職員の作品は今年から生徒と同じ教室ではなく専用の部屋で展示しました。



和 太 鼓 の 寄 贈

かるた会の終了後生徒及び保護者の前で和太鼓の披露演奏を行いました。

この和太鼓は、PTAが数年前から五十周年記念行事のため準備していた資金のうちから購入し、寄贈したものであります。今まで神出太鼓等で使用する時は、その都度よそから借りていたのですが、いつでも練習するというわけにはいかず苦労していましたが、これからはいつでも練習できるようになりました。

かるた会・ロードレース大会 豚 汁 会



PTA各部から

文化部

部長 田中 史絵

今年は一神出中学創立五十周年という素晴らしい年で、五十周年という歩みと一緒に、新しい時代へのバトンタッチが出来た様に嬉しく思います。

今年の文化部は、文化部と広報部と二つに分かれて活動しました。文化部の行事として、研修旅行と文化祭の作品展示を行いました。

研修旅行は、平成九年六月二



十九日曜日、行き先は、淡路島周遊しました。予定日の前日は天候も悪く台風が接近という事態でしたが、当日は晴天に恵まれ、四十一名の参加者で、ご協力下さった方のお陰で、八淨寺、バルシェ香りの館、静の里、淡路ファームパークへと回って来ました。大黒天八淨寺の住職様の大黒天の由来やお話を聞かされてもらい静の里では、一億の金塊と対面し、バルシェでロマンチックな乙女の意心地で、ファームパークではコアラと対面、小動物や植物に、心なごむ、楽しい思い出深い一日でした。

文化祭は、五十周年という事もあって、趣向を凝らして、PTA、OB、先生方の作品と、広報部さんのパネル写真を、一つの教室に飾って、見事に盛り上がりました。昔の神出町、神出中、もち米作り、吹奏楽部全日本マーチング大会出場決定、五十周年体育祭男子組体操、女子神出太鼓などの写真。真心込められた、セーター、羽織、ししゅう、お人形、アクセサリー、生花など、本部役員の方が記念マークのPATCHワークを作られて、華やかでした。この良き年に、参加出来た事を誇りに思います。

愛護部

愛護 長田 幸久

六月は須磨での事件もあり、地域の安全確認も兼ねて通学路の実態調査を行いました。七月は廃品回収を実施し、今年も地域の皆様に多くのご協力を頂きました。九月の体育祭では保護者の皆様のご協力でバザーを実施しました。廃品回収や、バザーで得られた収益金は十一月の五十周年記念行事の資金に加えて頂きました。

十一月に実施した廃品回収は、前日雨にたたられ、ご協力を頂いた皆様に大変ご迷惑をお掛けすることになりましたが、前回同様多くの廃品を回収して頂きました。しかし、残念ながら古紙市場の低迷で、今回から雑誌は収益が若干落ちることになりました。

ふれあい懇話会は、すべての児童生徒の健全な人格形成を図るには、学校、家庭、地域社会の協力が必要で、三者一体となり、共に考え、共に行動し、共に見守りながら、児童の健全育成を進めることが大切との観点から、一年間を通じて開催される会合です。この会合で、身近に居る子供達の、喫煙、万引きが増えているとの報告がされています。会に参加していて、誠に心の痛む問題であり、これからは、学校の指導に頼るだけでなく、家庭でも、是非、子供達

と話し合わなければならぬ問題であると思われました。

今年、神出中学校五十周年という節目の年であった上に、プラスバンド部が全国大会で銀賞を受賞し、全国に神出中の名を轟かせた記念すべき年であったと思います。

この年に大勢の皆様にご協力を頂き、無事ここまでの任務を終えることが出来たことを深く感謝致しております。ありがとうございました。

保体部

部長 藤田 巧

今年度の保体部は、創立五十周年事業の記念品作り、体育祭、文化祭、学校保健委員会の参加と多くの活動が在りました。その中でも大変だったのが、生徒達との記念品作りでした。どんなことになっての田植え、鎌をもつての稲刈り、沢山の餅つき、でも生徒達ははりきってしてくれました。そのせいもあってか式典は、大成功に終わったと思っております。体育祭での神出音頭と大玉転しでは、大勢の父母の方の参加があつて盛り上がりました。学校保健委員会では、先生方のお世話になりました。こうして保体部は、学校、父母の方々の協力で活動出来たと思つて折ります。

有り難うございました。今後神出中学校PTAの繁栄をお祈りしています。

日 程	行 事 の 内 容
文化 部	6月29日(日) PTA研修旅行 (淡路島・淡路ファームパーク他) 11月2日(日) 50周年記念誌 発行 11月2日(日) 53回文化祭関係 (展示)、パン販売
広 報 部	11月2日(日) 50周年活動報告の記録 (写真の展示) 3月2日(月) 広報「かんで」発行
愛 護 部	7月6日(日) 廃品回収 収集場所: JA神出支所 7月10日(木) 通学路実態調査、危険個所のチェック 9月21日(日) 体育祭バザー提供品集め及び販売 11月30日(日) 廃品回収 収集場所: JA神出支所 3月始め ベルマーク集計
保 体 部	6月7日(日) 田植え 8月26日(火) 神出音頭講習会 9月21日(日) 53回体育祭 PTA演技種目: 大玉ころがし、神出音頭 10月7日(火) 稲刈り (学級理事も) 11月1日(土) もちつき (学級理事も) 1月27日(火) 学校保健委員会
学級理事 本部役員	8月24日(日) 通学路の枝切りと清掃 10月18日(土) 教育講演会 (神出小) 参加 12月6日(土) 西区P講演会参加 1月24日(土) かるた会・ロードレース大会後の豚汁会



広 報 部

部長 正井 樹

従来からの文化部広報部会が、分離独立し広報部ができ、初代部長をおおせつかったわけでありました。何も分らないままカメラを持ち行事に参加してしまいました一年でありました。

五十周年記念行事には、記念行事の記録として、四月からの記録写真及び校長室にあった古い校舎の写真などを引っ張り出してきて、パネル掲示しましたが、お陰様で何と見栄えのする展示となりました。これも諸先生をはじめ皆様方のご指導とご協力によりできたものであります。この紙面をお借りして心からお礼申し上げます。
この広報紙の発行を持ちまして広報部としての行事が終わるわけですが、これも皆様のご協力のおかげです。



編 集 後 記

広報紙「かんで」第三十三号を皆様のお手元にお届けすることができ、担当者一同肩の荷がおりたと思います。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

広報部員 一同

